

「あきたで生きる」で秋田をイカす

秋田の地で「活躍」し、地域に「活気」と「活力」を生み出している元気人にスポットライトを当てて広く情報発信

○ 施策分類

広報

○ きっかけ・背景、課題の把握

秋田県内各地で意見交換をする中で、単に農業に従事するだけではなく、就農に当たって様々な経緯や思いを抱いて活動している方が多いことに着目。事例を広く紹介することで地域農業を見つめ直すきっかけとなればと発行に至る。

○ 取組の内容

取材対象者は、過去に意見交換を行った方や関係機関からの情報等をもとに選定。特徴的な取組等を令和5年3月からHPの新コーナーとして紹介。併せて紙媒体でも広く発信。

○ 効果・成果、今後の方向性

「あきたで生きる」はHP掲載(※)に加え、各種会議や生産者との意見交換等で最新号を印刷して配布したところ、冊子版に対する要望が多かったことから、7月号から冊子版も作成。

取材先からは、「若手を取材していただき嬉しかった。関係者との理解が深まり反応は良好」、「各方面に配って紹介してほしい」、「ぜひ載せてほしい」等好評を得ている。

今後は、取組の紹介を更に積み重ね、農業に興味を持つ学生(Z世代)等新規就農に繋がるきっかけ作りや、生きる人々の励みとなり、秋田で更にかす(イカす)、ヒトやモノ・コトの価値の発揮に繋がることを目指す。

あきたで生きるとは

生きるには、農林水産業を生業とし、暮らし、生き生きする、仲間を作る、効果を現すと云う意味が込められており、そのような秋田で生きる人々に焦点を当て、秋田の地域資源を活用しながら生き生きと暮らし、地域資源を活用することでヒトやモノ・コトの価値が発揮され、秋田を活かすような取組について、令和5年3月から東北農政局秋田県拠点のWEBサイトで紹介しています。

今回、毎月1件ずつ紹介している取組を1冊にまとめました。随時更新中です。

令和5年度

| | | |
|-----|--|--|
| 12月 | | 三吉農園(仙北市) 地域も巻き込んで、漬物文化を承継したい! |
| 11月 | | ふみぞわファーム(北秋田市) 祖父母から受け継いだ畑で挑戦 |
| 10月 | | 柳沢幸子(鹿角市) 生まれ育った秋田で、新たな花を咲かせたい! |
| 9月 | | 稲とアガベ株式会社(男鹿市) 風土醸すお酒で、ワクワクと雇用創出 |
| 8月 | | 森川農園(大仙市) 子どもの頃に見た秋田の景観を守りたくて |
| 7月 | | 宮の羊の牧場(山本郡藤里町) 白山山の麓から国産羊肉の生産拡大を目指す! |
| 6月 | | SENTE(秋田市) 秋田の天然資源を活かし、ブランド力をアップ |
| 5月 | | 阿部春華(雄勝郡羽後町) 自給したい肥を使った循環型農業をやってみた! |
| 4月 | | 株式会社 こっこちゃんファーム(山本郡三種町) 生まれたての法人と共に成長 |
| 3月 | | 合同会社 秋田里山デザイン(男鹿市) 耕作放棄地を耕し、種を蒔く |

あきたで生きる

※「あきたで生きる」のHPは掲載はこちら
<https://www.maff.go.jp/tohoku/tiiki/akita/akitadeikiru.html>



意見交換等でも活用



取材先に「あきたで生きる」について趣旨を説明